



アレルギー Q & A



Q |

果物アレルギー（リンゴ）は花粉症と関係があると聞きました。花粉症が改善したらリンゴや果物に対する症状も軽くなりますか？

A |

口腔アレルギー症候群における果実アレルギーは、まず花粉抗原により感作が成立し、その後、それらの抗原に対して交差反応性を示す蛋白質抗原を含む果物や野菜を経口摂取した際に主に口腔粘膜の過敏反応が誘発されます（日本アレルギー学会公式サイトより）。理論的には、免疫療法で花粉症が改善すれば、関連する果実アレルギーも改善する可能性が想定されますが、まだ研究段階で結論が出るには至っていません。

（2024年12月7日）



Q2

経口免疫療法はリスクが高すぎます。別の治療法はないでしょうか？

A2

現在、皮下免疫療法など研究はされていますが、まだ実用化はされておられません。経口免疫療法は、アナフィラキシーを発症する可能性を0にすることはできませんが、適切な場所、適切な量を摂取することで比較的安全に実施することが可能です。必要があればアレルギー専門医にご相談ください。

(2024年12月7日)



Q3

薬剤、紫外線、食品添加物アレルギーがあり、難病患者で身体障がい者です。アレルギーの他者への説明が難しく、どう伝えれば伝わるのかが知りたいです。アレルギー差別や偏見は仕方ない事なののでしょうか？



A3

ご指摘のように、アレルギーは周囲の方への説明が難しい疾患のひとつです。運動、寒冷、日光、薬剤、化学物質、食品など原因が多岐にわたるうえ、外見からはわかりません。一方で、アトピー性皮膚炎などは外見からの偏見に悩まされることもあります。アレルギーをひと言で説明することは難しいので、「自分は〇〇に対してアレルギーを持っているので、症状がひどくならないために〇〇している。〇〇に気を付ければ通常の生活は可能」というようになるべく具体的に説明すると理解していただきやすいのではないかと思います。主治医に説明方法についてご相談するのも一案です。アレルギーによる差別や偏見はあってはならないと考えています。

(2024年12月7日)



Q4

孫がピーナッツアレルギーです。普段は外国に住んでいますが、日本に帰国した際の、発症後の対応等について知りたいです。エピペン使用後は病院受診が必要だと娘から聞いていますが、自宅から近いところでも受診可能でしょうか？また、ピーナッツアレルギーは少量ずつ食べていると治ることがあると聞きましたが本当でしょうか？アレルギーがあるのに、口にして良いのでしょうか？

A4

エピペン®使用後は、すみやかに自宅近くの医療機関を受診してください。アレルギー対応に関しては、外国でも日本でも変わりはありません。アレルギー物質を少量ずつ摂取することで、“寛解”に至る可能性はあります。ただ、安全に摂取できる量を調整する必要があるため、必ず専門医の指示に従ってください。

(2024年12月7日)

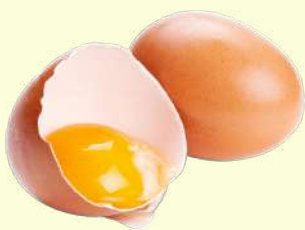
Q5

食品のコンタミネーションにも配慮は必要でしょうか？

A5

基本的の除去の必要はありません。加工食品のコンタミネーションの注意喚起表示は義務ではありませんので、注意喚起表示がないからといって同じ製造工場内で作られていないとは限りません。主治医の先生に確認ください。

(2024 年 12 月 7 日)



Q6

アレルギー（ハウスダスト）による喘息対策について教えてください。

A6

基本的にはお掃除が有効です。寝具やクッション、カーペットや畳はゆっくりと掃除機をかけます。寝具やクッションなどは丸洗いできるものを選びこまめに洗います。畳の上にカーペットは敷かず、フローリングがおすすめです。エアコンのフィルターはこまめに掃除をしましょう。家具は間をあけて置き、掃除がしやすいようにしておくといいです。ダニが発生しにくい環境を作ることが大切です。アレルギーポータルサイトでもっと詳しく調べることが出来ます。

（2024年12月7日）



Q7

子どもが幼児期に、病の治療で薬疹が現れたことがあります、その際に薬剤のアレルギーがあることが分かりました。薬剤アレルギーというものについて注意点を含め、知りたいです。

回答は次のページへ 



A7

薬剤アレルギーとは、薬によって生じるアレルギーのことですが、原因となる薬剤は抗菌薬、消炎鎮痛薬、抗けいれん薬、痛風治療薬などが多いと言われています。薬剤アレルギーは、薬疹と呼称される場合もあります。ある薬が投与されると、その薬に対する抗体が体内で作られ、次に投与されたときに抗体がその薬を攻撃することで、さまざまな症状を引き起こします。また、抗体が関与しない遅延型のアレルギーも起こります。注意することとして同じ薬を再度使用しないために、

- ①お薬手帳は常に一緒に持ち歩く
 - ②薬剤アレルギーを起こした薬剤名をお薬手帳に記録として残す。
 - ③病院、歯科、クリニックなど医療機関を受診した場合に問診で薬剤アレルギー（わかれば薬品名も）があることを医療スタッフに伝える。
 - ④医療機関等で注射、点滴など受けた場合、体調に変化が生じたらすぐに医療スタッフに申し出る。
 - ⑤内服薬・外用剤など自宅でアレルギー症状が生じたらかかりつけ医療機関に相談する。
- ①～⑤に注意していただければと思います。

(2024年12月7日)

Q8

保育園に勤めています。児童が体調によって卵を食べた後に口の周りに発疹ができることがあります。保護者様は直ぐに消えるので大したことはないとの話をされますが、病院でアレルギー検査を受けて頂くことを勧めた方が良いでしょうか？



A8

食事後の口の周りの発疹は、卵によって発症したアレルギーのものか、食べこぼしによって生じた物理的なものか、わからない場合が多いです。アレルギー外来では、これまでに食べられたものなどを詳細に伺い、卵アレルギーかどうか検討していく形になります。普段の体調で食べているときに問題なければ、アレルギーを心配する必要は少ないかもしれません。保護者の方には、症状が出たことを伝えていただき、繰り返して悪化していく印象であれば、かかりつけ医への相談を促してよいかと思います。

(2024年12月7日)